

# めぐみイエス・キリスト教会

2024年7月28日(日) 第四主日礼拝

午前10時より

週報「通算第717号」



2024年標題聖句

マタイの福音書第6章33節

《まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべて、それに加えて与えられます。》

第一礼拝(教会にて) 毎週日曜日 午前10時～11時

第二礼拝※中止

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時～(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実  
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

## ◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌258「墨よりも黒き心なれど」 p. 402

【交読文】 No.44 詩篇第139篇 p. 913

【賛美Ⅱ】 新聖歌198「God Bless You」 p. 294

【使徒信条】

【主の祈り】

【前回説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナル曲「あなたと共にいつまでも」

【聖書朗読】 ルカの福音書6章17節～19節(新約p. 121)

【礼拝説教】 《愛と哀れみによるいやし》

【聖餐式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌165「栄光イエスにあれ」 p. 236

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

### ※本日の聖書箇所(ルカの福音書6章17節～19節)

6:17 それからイエスは彼らとともに山を下り、平らなところにお立ちになった。大勢の弟子たちの群れや、ユダヤ全土、エルサレム、ツロやシドンの海岸地方から来た、おびただしい数の人々がそこにいた。

6:18 彼らはイエスの教えを聞くため、また病気を治してもらうために来ていた。汚れた霊に悩まされていた人たちも癒やしてもらっていた。

6:19 群衆はみな何とかしてイエスにさわろうとしていた。イエスから力が出て、すべての人を癒やしていたからである。

## ●ポイント1.「マルコにおける主イエス・キリストの福音」とは？

### ※マルコの福音書1章29節～34節「カペナウムにて」(新約p.66下段)

1:29 一行は会堂を出るとすぐに、シモンとアンデレの家に入った。ヤコブとヨハネも一緒であった。

1:30 シモンの姑が熱を出して横になっていたので、人々はさっそく、彼女のことをイエスに知らせた。

1:31 イエスはそばに近寄り、手を取って起こされた。すると熱がひいた。彼女は人々をもてなした。

1:32 夕方になり日が沈むと、人々は病人や悪霊につかれた人を含め、イエスのもとに連れて来た。

1:33 こうして町中の人々が戸口に集まって来た。

1:34 イエスは、様々な病気にかかっている多くの人を癒やされた。また、多くの悪霊を追い出し、悪霊どもがものを言うのをお許しにならなかった。彼らがイエスのことを知っていたからである。

## ●ポイント2.「マタイの福音書」における平行記事とは？

### ※マタイの福音書12章15章～16節「彼らをみな」(新約p.22下段)

12:15 イエスはそれを知って、そこを立ち去られた。すると大勢の群衆がついて来たので、彼らをみな癒やされた。

12:16 そして、ご自分のことを人々に知らせないように、彼らを戒められた。

## ●ポイント3.「十字架と復活と昇天とペンテコステ」以降は？

### ※ヤコブの手紙5章14節～15節前「ヤコブの勧め」(新約p.464上段)

5:14 あなたがたのうちに病気の人がいれば、教会の長老たちを招き、主の御名によって、オリーブ油を塗って祈ってもらいなさい。

5:15 信仰による祈りは、病んでいる人を救います。主はその人を立ち上がらせてくださいます。もしその人が罪を犯していたなら、その罪は赦されます。

## ◎先週の礼拝メッセージ【十二使徒の召命】

《主イエスは祈る為に山に行き、神に祈りながら夜を明かされました。主は、十二使徒を選ぶ為に、父なる神様と話し合われたのです。

この頃には、主の弟子たちは、最低でも72人以上はいました。この中から、たった12人を選ぶのですから、これは大変なことです。

もっとも、最初の6人は、ヨハネの福音書によれば、主イエスがバプテスマのヨハネに洗礼を授かってから、一週間以内に与えられた弟子たちですので、比較的たやすく決まったかも知れません。

すなわち、ゼベダイの子ヨハネとその兄弟ヤコブ、アンデレとその兄弟シモン・ペテロ、そして、ベツサイダ出身のピリポとその友人バルトロマイです。この6人は、ヨハネの福音書における7つのしるしである「最初の奇跡」の目撃者でもあるのです。

そして次には、カペナウムにおいて加えられた取税人レビが考えられます。それから、疑い深いトマス、レビの兄弟アルパヨの子ヤコブ、ヤコブの子ユダ(タダイと同一人物)と熱心党员シモンを選ばれたのではないのでしょうか。そして、いよいよ最後の一人となったのです。

主イエスはダビデの子とも言われ、ダビデの血筋を引いています。ダビデは預言者でもあり、詩篇に、メシアの苦難を預言しています。『私が信頼した親しい友が私のパンを食べている者までが私に向かってかかとを上げます。』

主イエスは、旧約聖書を知っておられました。また、ご自身が選んだ者の中に、このみ言葉が成就することも、もちろんご存知でした。

そうであっても、主イエスと父なる神様は、イスカリオテのユダを十二使徒の中に加えられたのです。そして、この日から、本格的な十二弟子の訓練が始められます。主は彼らに言われました。『「あなたがたが私を選んだのではなく、私があなたがたを選び、あなたがたを任命しました。』と。この言葉は、今の私たちにも向けられています。』

### お知らせ

※次回8月4日(日)第一主日礼拝は通常通り10時から行ないます。